

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 森 ゆきな

1. はじめに

私は2024年2月29日から3月26日までの間、タイにあるシーナカリンウィロート大学へ交換留学生として留学しましたので、報告いたします。

2. 大学生活

シーナカリンウィロート大学は国立大学で文系の学部はバンコクに、理系の学部はナコンナヨックにキャンパスを備えています。私たちが過ごしたナコンナヨックにあるキャンパスはとても広く学内専用のバスがあり、生徒はこのバスに乗ったり自分のバイクに乗ったりしてキャンパス内を移動していました。カフェやレストラン、コンビニなどの他に薬局やマッサージ屋もありました。夜になるとマーケットが開かれ、よくそこで夜ご飯を食べていました。どこのお店も多くの人がいて、活気がありました。



過ごした寮の様子



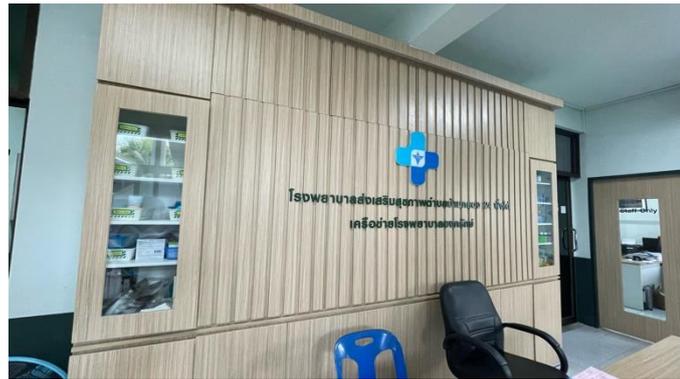
薬学部棟

3. 病院

病院実習では学校の近くにある主に生活習慣病の患者さんを診察する病院へ行きました。ここでは薬のピッキングや監査のお手伝いをさせてもらうことが出来ました。どこの病院も患者さんが多く、忙しい時も多かったですが先生方が丁寧に指導して下さったおかげで、最後には自信をもって作業が出来るようになるまで成長することが出来ました。日本の薬局とは違い薬棚がなく、使用する薬は大きな机の上に並べてあり、その他の薬は衣装ケースのようなものに入れてありました。他にも薬袋が紙でなくジップロックであることに加え、朝用、昼用、夕方用で薬袋を分けるのではなく薬ごとで分けていました。



調剤台



病院の受付

4. 在宅医療

滞在中、2つのご家庭に訪問させていただきました。統合失調症を患われている患者さんのご家庭と、高血圧、脂質異常症、心疾患を患われている患者さんのご家庭でした。医師、看護師、薬剤師の方々と訪問し、お薬カレンダーに朝用と晩用の2つの袋を日ごとに詰めていく作業や、血糖値の測定、血圧の測定を行いました。飲み間違いのないように朝用の袋を前にして重ねて詰めることや、患者さんに「この薬はどのような薬で、いつのまなければならぬのか」といった内容の質問をし、処方されている薬を理解出来ているのか確認していました。在宅治療の対象となる方は病院から遠く離れた場所に住んでおり車もなく近くにスーパーなどもないため、お米や水といった食料品も届けていました。



薬を入れている袋 (右:朝用 左:晩用)



お薬カレンダー作成の様子

5. 薬局見学

キャンパス内にある薬局に見学に行きました。各棚に薬が分類分けされて置かれており、タイハーブや注射器も置いてありました。また、シーナカリンウィロート大学はブランドとしてハンドクリームなどを販売しており、その製品も販売していました。薬局内は気軽に訪れて薬剤師と相談できる雰囲気でした。この薬局では学生さんも働いており、患者さんから症状を聞いて適切な薬は何かを判断し、販売している姿がみられました。



薬局の中の様子



薬剤棚

6. 実習

薬学部の2年生と3年生の学生さんの実習の授業に参加させてもらえる機会がありました。授業はタイ語での説明でしたが、同じチームの人たちが英語に訳して教えてくれたので特に不自由を感じることはありませんでした。生薬の授業では私たち用に実習資料を英語に訳したものを用意してくださっていました。実習中はたくさんの学生さんが声をかけてくれ、大阪の話や趣味の話で盛り上がりました。日本が好きな人が多く、何人か日本語で自己紹介してくれました。ほかにも関西弁を教えたり、タイ語を教えてもらったりと充実した時間を過ごすことが出来ました。



製剤実習で作成したビタミン剤



生薬学実習の様子

7. ラボ

虫よけ、バスボブを作成しました。基本、材料の重さをはかって順番に混ぜていくだけで完成させることが出来るように簡単な方法を用意してくださっていたので楽しく作成することが出来ました。フレグランスを自分で決めることが出来たので、たくさんあるサンプルの中からみんなでどの匂いがいいか話し合ったのもいい思い出です。バスボブはカップに沢山の粉を入れて固めなければ型はずす時崩れてしまうので、粉が少なくなってきたあたりから少し作るのに苦労しました。



虫よけとバスボブ



バスボブ作成の様子

8. ハイキング

学校の先生と学生さんと一緒にカオヤイ国立公園に 2 日間にかけてハイキングに行きました。野生動物が多く生息しており、到着する少し前からサルの群れを見ることが出来ました。コテージで早めの晩御飯を食べ、夜になると車の荷台に乗って動物観察に行きました。シカやヤマアラシ、キツネなど様々な動物を見ることが出来ました。そのあとはみんなでカップ麺を食べて UNO をして遊びました。翌日はガイドさんとともにハイキングに行き、植物や動物についての説明を受けながら歩きました。



カオヤイ国立公園



夜の動物観察で見つけたシカ

9. 最後に

今回の交換留学をするにあたり、国際交流基金の助成をしていただき本当にありがとうございました。私がこの約1ヶ月間で得られたものは言葉では表しきれないほど貴重なものとなりました。今回のたくさんの経験はこれからの自分の成長の糧になると思いました。